



価格転嫁が難しく利益を圧迫している電力コスト
電気料金値上げに対する備えは万全でしょうか？

医療・介護施設の運営経費削減には、
具体的な分析と対策が不可欠です

電力設備の中で最もコスト削減に効果的な
照明LED化のご提案

【2023年、これから電気料金は下がるのか？ 上がるのか？】

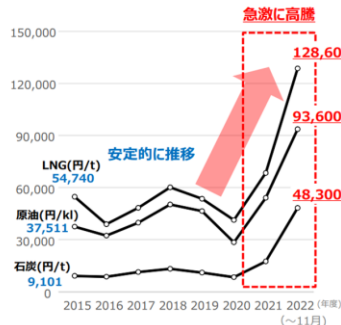
＜電気料金が上昇している主な原因＞

[原因1] ウクライナ情勢による影響

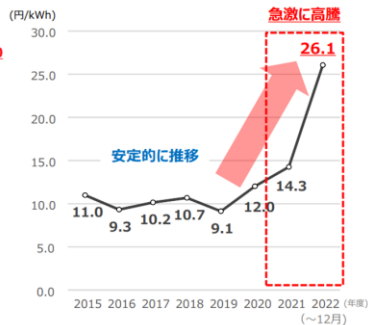
[原因2] 脱炭素社会の影響で「天然ガス(LNG)の需要が増加」

[原因3] 円安などの影響

【燃料価格（貿易統計価格）の推移】



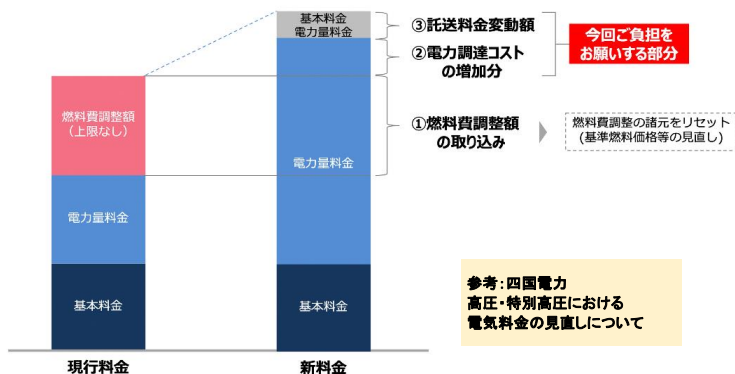
【卸電力取引市場価格の推移】



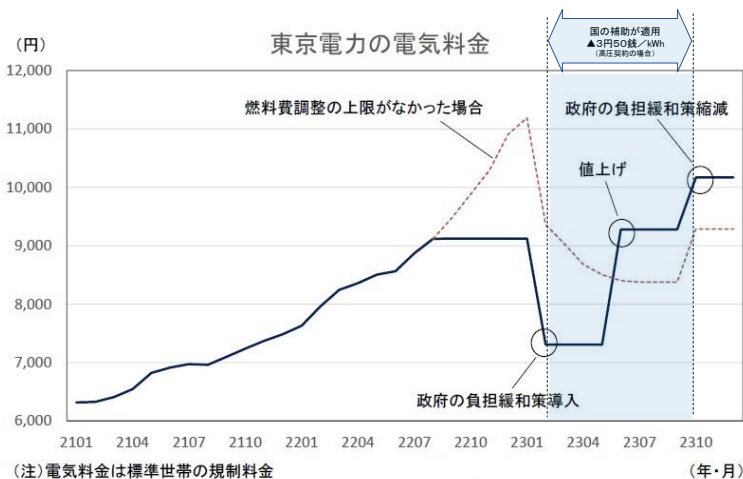
出展：東京電力

大手電力会社は、6月以降に規制料金プランの料金改定（値上げ）を発表しています。料金改定後の電気代の構成を見ると、新たに託送料金変動額が加算され、燃料調達コスト増加分が見えにくくなるため、注意が必要です。

電力料金改定後の電気代請求額の構成



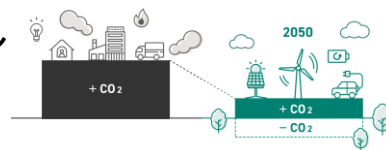
2023年2月から10月までは、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」として3円50銭/kWh（高圧契約の場合）の補助が適用されており、一時的に電気代が下がったように見えますが、あくまでも期間限定の措置であることを認識しておく必要があります。



出展：ニッセイ基礎研究所

日本政府は、2050年までのカーボンニュートラル実現を表明しています。

経済産業省は、2050年に温室効果ガス排出量を「実質ゼロ」にする政府目標を達成しようとする際、再生可能エネルギーで発電電力量の5～6割を賄うと、発電などのコストが今の約2倍に膨らむなどとする試算を示していることから、長期的スパンで今後も電気代は上昇を続ける見通しです。



【電気代高騰の影響が医業利益を圧迫、何らかの対策が求められています】

電気料金値上げ 6月以降に 値上げ幅 圧縮も公聴会で厳しい声相次ぐ

2023/4/13 13:41

政治 | 政策

産経新聞 (2023年4月13日)

みんなの反応



公聴会で、東京電力エナジーパートナーの値上げ申請の内容について意見を述べる陳述人（右端）＝13日、東京都千代田区の経済産業省（永田岳彦撮影）

日本経済新聞

お申込み

ログイン

三

トップ 朝刊・夕刊 LIVE Myニュース

千葉県内企業、電気代増加分「価格転嫁できず」9割

千葉 + フォローする

2023年4月14日 19:45

電気・ガスの値上がりだけで「医業利益が約半減」 日病協が財政支援要望、処遇改善への措置も

© 2023年02月09日 19:20

いいね! 2

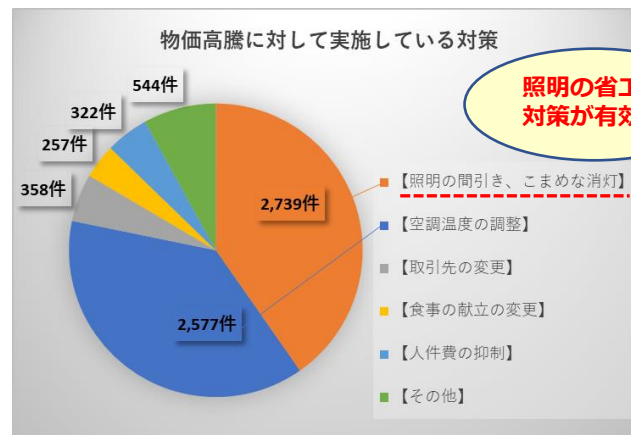
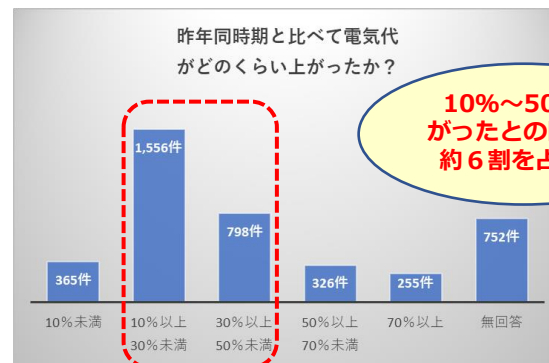
スクラップブック

日本病院団体協議会は9日、電気・ガスの値上がりだけで150余りの病院の医業利益が半分近く減るとする四病院団体協議会（四病協）の調査結果を基に、医療提供に必要なコストの上昇に医療機関が対応できるよう財政支援を求める要望書を加藤勝信厚生労働相宛てに提出した。併せて、医療機関が医療従事者の処遇改善を適切に行えるよう、必要な財政措置も要望している。【松村秀士】

四病協が2022年12月12日～23年1月13日、会員病院に電気・ガス料金の値上がりに関する調査を実施。156施設から回答を得た。うち、有効回答数は電気料金が139施設、都市ガス料金は67施設、プロパンガスは67施設、重油・灯油・軽油は49施設。

25協会・医会から会員医療機関に対する「電力料金等高騰に関する医療機関緊急調査」結果
(2023年4月)

電気料金の高騰が直撃 72%の医療機関で「値上がり幅 1割以上」



出展：全国保険医団体連合会

「電力料金等の高騰に関する医療機関緊急調査」から抜粋

【高騰する電気代抑制対策として最も有効な照明のLED化】

病院施設では、電力消費量が多い照明のLED化で大幅な電気代の節約が可能です！

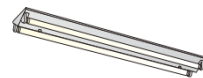


既設蛍光灯から交換するだけで、直ちに電力を削減できる照明のLED化

① オフィス・会議室/LEDベースライト器具

LED器具にリニューアルすることにより、同じ台数で大幅な省エネ。

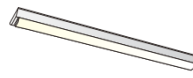
改修前 FLR40形2灯用逆富士形器具



LEDで
省エネ



改修後 LED一体形器具
FLR40形2灯相当



消費電力

改修前
86W×28台
=2,408W

改修後
25W×28台
=700W

約71%
省エネ

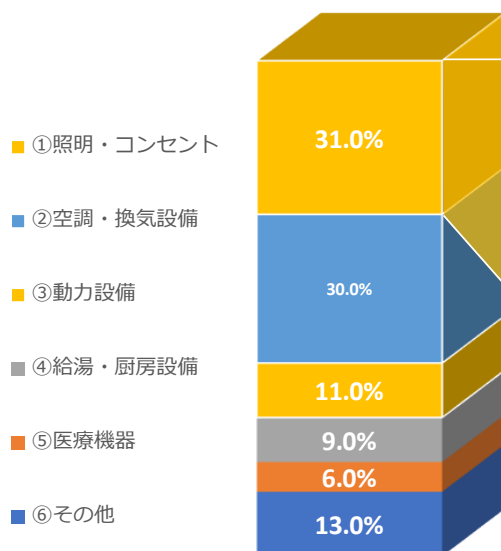
年間電気料金

改修前
約223,900円

改修後
約65,100円

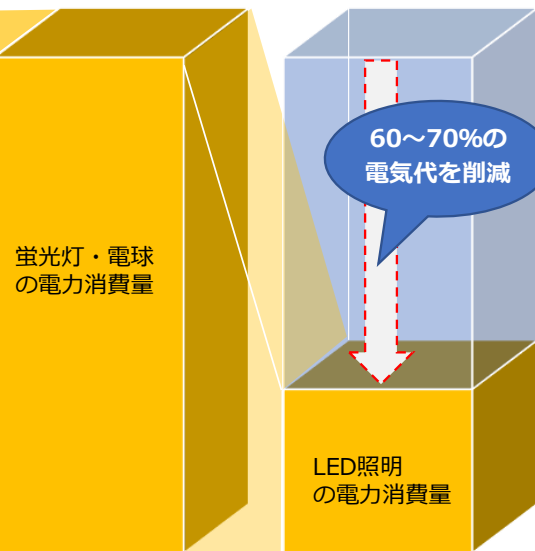
約158,800円
/年削減

病院における用途別電力使用比率



東京都環境局
東京都地球温暖化防止活動推進センター資料より抜粋

照明のLED化による省エネ効果



LEDレンタル導入システムは、設備投資予算の捻出をする必要もなく、今すぐに電気代高騰対策として経営改善することが可能です。

LED導入シミュレーション

総合病院（神奈川県）

病床数：154床

使用照明：蛍光灯（1300灯）

稼働日数：365日／年

点灯時間：約10時間／日

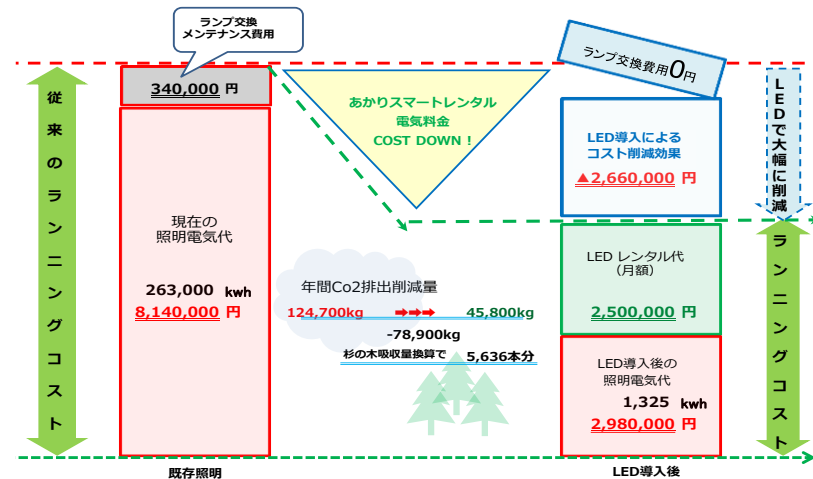
基本料金単価：1390.87円／kW

電力量単価：22.54円／kWh

再エネ賦課金：1.40円／kWh

燃料調整単価：5.39円／kWh

こちらの病院では、レンタル代を含んでもランニングコストを年間で約260万円節約することが可能です。



コスト削減と同時に照度改善が図れ、院内が明るく清潔感がアップします。



先ずは急激な電気料金の上昇分を把握して、
事業所の使用電力構成を分析・可視化し、
運営経費削減の具体的な対策を講じること。
即効性のある対策が今求められています。



ef Balance

MIRAI Consulting Firm

エフバランス株式会社

〒108-0074 東京都港区高輪二丁目16-36 703号

TEL : 03-5422-7728 / FAX : 03-6850-7580

<https://efbalance.com>